

明科いいまち通信

No. 92

安曇野市明科中川手 6824 番地 1

明科支所: 62-3001 / 明科公民館: 62-4605

いいまち通信は、
WEBでもご覧
いただけます。▶



http://akashina.net/localinfo/newslist1

令和7年11月20日 発行



今月の明科の人 紹介



今回は **安曇野・明科の地へ来て** です



明科高等学校
校長 斎藤 善治



今年の4月に明科高等学校に赴任いたしました校長の斎藤善治です。

明科といえば子どもの頃、家族と一緒に川で魚釣りやニジマスのつかみ取りを楽しんだ思い出があります。今回ご縁をいただき、この地で子どもたちと共に学ぶことができることを大変うれしく思っております。澄んだ水と豊かな自然、そして何より温かな人のつながりに恵まれた明科は、私にとって懐かしさと新しさが同時に感じられる特別な場所です。

本校は本年度創立40周年を迎え、「創造・気力・友愛」を校訓として、一人ひとりの個性を大切にしながら、確かな学力と豊かな心を育む教育を進めております。私も着任以来、子どもたちが授業や行事に真剣に取り組み、互いを思いやりながら成長していく姿に、何度も心を打たれています。これからも子どもたちが「共感・体感・達成感」をしっかり味わい、将来社会で力強く羽ばたけるよう、教職員一丸となって取り組んでまいります。



潮神明宮のお舟祭やあやめまつり、明科うまいもん市など、地域の行事にもお声がけいただき、生徒と共に参加させていただいております。伝統ある祭りの熱気や地元の方々との温かい交流に触れるたびに、「地域と共にある学校」の意味をあらためて感じます。生徒たちはこれらの貴重な経験をとおして地域や他者を尊重する気持ちを育むことができています。

去る9月26日(金)と29日(月)に2年生が明科公民館にて、「明科いいまちつくろうかい!!」の皆さんと地域文化交流会「なすの薄焼きづくり」をさせていただきました。みんな笑顔で地域の方と会話をしながら積極的に手を動かしていると、あっという間に薄焼きが完成しました。出来立ての薄焼きはとてもおいしく、いつもはナスが食べられない生徒も「今日はおいしくて食べられた」と感想を話してくれました。また、食事の後には、全員で輪になり手をつないで「ふるさと」を歌い、地域の方と一緒にした気持ちになりました。高校生が地域の方とのふれあいをとおして学ぶことはとても貴重な機会であると今回の活動で改めて実感しました。



どうぞこれからも学校や子どもたちを見守り、温かく励ましていただければ幸いです。そして私自身も、明科の一員として皆さんとたくさんの出会いや学びを重ねていきたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。

明科コラム



明科公民館
館長 安井 邦夫

—文化祭をふり返って—

明科地域文化祭が10月31日から3日間にわたって開催されました。例年並みに来場者が訪れ、例年並みにステージ発表が行われ、例年並みに地域のみなさまの作品が展示されました。滞りなく開催できましたことは、ひとえに地域のみなさま、関係者のみなさまのご理解、ご協力のおかげと感謝申し上げる次第です。



文化祭の運営についてはすでに10年間携わってまいりました。10年前と比較すると展示、ステージ発表とともに人数・作品は減少傾向にあります。地域の少子高齢化、人口減少が要因と思われますが、急激な減少には至っていません。消滅した団体もありますが、新たに加わった団体もあります。10年前と比較して1割程度の減少といったところでしょうか。大きな減少に至らないのは、10年前の顔ぶれが今でも文化祭をけん引しているところにあると思います。高齢者がいつまでも元気なことは大変喜ばしいのですが、これからの継続を考える上では新規加入者の獲得が必要になるでしょう。

また、団体同士の協力、創意・工夫も不可欠です。2日の芸能発表では、コール明科と童謡唱歌をうたう会が合同で「わが町」を歌うという光景がみられました。今までひとつのサークルが個々に発表するスタイルが基本でしたが、今回の企画は継続にむけての前向きな試みであったと思います。

作品展示については、日頃の学びの成果が表れた作品が数多く展示されておりました。あまり気づかないかもしれません、玄関脇に年間をとおして掲示してある短歌も文化祭に併せて新しい作品にリニューアルしています。明科短歌同好会代表の加々美典子さんは「もう7人になっちゃったよ。昔は倍以上いたのにね。でもできる限り続けていくからね。」と話されていました。



どの団体も人数減少の悩みはあります、継続していくと言ってくださるのはうれしいことです。それではできる限りとはどこまでだ?という話になるかもしれません、生涯学習においては終点は決まっています。それは命が尽きるまでです。それが生涯学習のコンセプトですから。

明科公民館からのお知らせ

あかしなこうみんかん Akashina-Kominkan

← 1月
January

11月
November

イベント等の詳細については、
明科公民館(0263-62-4605)までお問い合わせください。

ワインと音楽のゆうべ



ピアノとヴァイオリンの演奏を聴きながらワインと料理を楽しめます。

日 時：12月5日（金）午後5時30分～8時

場 所：明科公民館 講堂

奏 者：近藤 聰さん、田中 香帆さん（ヴァイオリン）
大野 一子さん（ピアノ）

参加費：2,500円（料理のみは1,500円）

申込み：11月25日(火)、26日(水)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)

いのちのはなし Part 2

～いのちを味わって生きるために～



発酵と腸とココロとカラダについて学びます。

日 時：12月10日（水）

午後1時30分～3時30分

場 所：明科公民館 調理実習室

主 催：明科いいまちつくろうかい!!発酵文化研究班

講 師：高橋 紗希恵さん（管理栄養士）

参加費：700円（本格的な冬に備える発酵食付）

定 員：20人（先着順）

申込み：12月4日(木)、5日(金)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)

スマホ相談室

基礎編第5回



スマホの基本的な操作、アプリの使い方などについて、個別に相談に応じます。

日 時：12月11日（木）午前10時～正午

場 所：明科公民館 講堂

講 師：公民館職員

参加費：無料

定 員：15人（先着順）

持ち物：お使いのスマホ

申込み：12月1日(月)、2日(火)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)

明科生活・文化講座

～八百万の神様の話～



日本に数多くいる神様の歴史、特徴、ご利益などについて学びます。

日 時：12月16日（火）午前10時～11時30分

場 所：明科公民館 講堂

講 師：巻山 圭一さん（元明科高校校長）

参加費：無料

申込み：不要

自分で生けたお花を家に飾って新しい年を迎えるか。初心者、経験者の方ともに歓迎です。

日 時：12月26日（金）午前10時～11時30分

場 所：明科公民館 創作室

講 師：細川 留美子さん

参加費：2,500円（花代）

申込み：12月15日(月)、16日(火)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)

～お正月のお花をかざろう～





地域おこし協力隊 瀬戸 康弘、山崎 大輝

こんにちは！安曇野市地域おこし協力隊です。

今日はあづみ野エフエムでおなじみ、ずくだせ！協力隊！コーナーのいいまち通信出張版ということで、今日は「冬の過ごし方」というお題でお話します。

まず、山崎さんにどんな冬の過ごし方が好きなのか聞いてみましょう！

「冬はカロリーを蓄えたい季節なので、おうちでモリモリ脂っぽいものをガツツリ食べたいのですが、健康にも気を使って、農業塾で頂いたお野菜をたっぷり入れた鍋を食べて暖かく過ごすのが好きです。鶏むね肉と根菜を使ったつみれ汁なんかも大好きなんですね。出汁からスープを作ったおでんをコトコト煮込みながら、熱燗で晩酌もオススメです!!」



なるほど、冬は夜が長いですからお家でおいしいご飯を食べるという過ごし方もいいですね！

瀬戸さんにも「冬の過ごし方」を聞いてみましょう！瀬戸さんは安曇野に来て冬の過ごし方はどのように変わったのでしょうか。



「安曇野に来て一番驚いたのは、冬の寒さでした。日中も外にいられないくらい寒い日もあり、そんな日は家族でお風呂屋さんに行きます！安曇野市内や近郊にも温泉が数多くあって、冬でお出かけが億劫になる時も温泉を目当てにみんなで出かけられるのは良いですね！」



今シーズンは山ノ内町の渋温泉にスノーモンキーを見に行ってみたいですね！」

皆さんはどうな冬の過ごし方が好きですか？



編集後記

・夏の暑さも終わり、さわやかな秋になると思っていましたが、もう冬の気配です。この時期は猫と縁側で日向ぼっこを楽しみにしていたのですが、すでに猫とこたつで丸くなっています。(や)
 ・一気に気温が下がり、冬が近づいてきたので、最近家にこたつを出しました。半年くらいぶりに入るこたつはとても温かく、外に出るのがおっくうになるなと思いました。(み)

いいまち通信の掲載記事を募集します

明科いいまち通信へ掲載する記事を募集いたします。なにか発信したい内容などがありましたら、是非ご投稿ください。

募集内容 住民のみなさまからの記事・文章・写真・俳句・ご意見など

投稿要項 ・投稿する際は必ず**氏名・住所・連絡先**を記載してください。

・記事内容は、明科いいまち通信編集会議で検討いたします。

投稿方法

①明科支所（明科中川手 6824-1）へ持ち込む または

②Eメールで送る ⇒ akashina-shisho@city.azumino.nagano.jp

お問合せ 明科いいまち通信編集担当 (TEL:62-3001 FAX:62-4747)